科学のお姉さんから

連載

これからのモノづくり女子へ

第26回 人間・自然・テクノロジーの未来を考える
ドイツベルリンの博物館「Futurium」

五十嵐 美樹*　＊いがらし　みき：1992年東京都生まれ。上智大学理工学部機能創造理工学科（物理学専攻）在学時に「ミス理系コンテスト」でグランプリを受賞。その後、科学実験教室やサイエンスショーを全国各地の子どもたちに向けて開催、講師を務める。現在は東京大学大学院学際情報学環客員研究員として研究を続けるかたわら、テレビやYouTubeなどで科学の楽しさを伝えている。Twitter:@igamiki0319

ドイツベルリンの街中にある博物館「Futurium」にうかがいました（**写真1**）。とてもきれいな街並みに調和した2019年にオープンしたばかりの新しい建物で、誰もが無料で楽しむことができます。アクセスもよく、誰にとっても開かれた場であることが体現されており、入る前からそのメッセージに感激しておりました。本博物館は「科学、研究、開発に関するプレゼンテーションと対話の場」として機能しており、人間、自然、テクノロジーをテーマにした未来について考えるきっかけとなるような多数の展示があります。また、さまざまなイベントやワークショップなども行われているそうです。印象的だったのは、素晴らしい表現力を通じて私たちの未来への問いかけが行われていたことです。今回は、個人的に心に残ったいくつかの展示をご紹介いたします！

写真1　ドイツベルリンの街中にある博物館「Futurium」と五十嵐美樹

Neo-Nature

私たちは人間によってつくられた環境に住んでいますが、この“新しい自然（Neo-Nature）”は、絶えず私たちのアクションによって形が変わります。もし私たちが自然からインスピレーションを受けて環境を整えれば、素晴らしい結果が得られるはずです。**写真2**の巨大な木彫り作品は、まさにその姿を表しています。小さな生物の集合体であるため、自然界で成長しているような印象を与えます。個々の木製部品の形状はアルゴリズムで計算されており、たったの11種類の木製部品から複雑でユニークなオブジェクトが形成されているそうです。このように、この彫刻は自然とテクノ

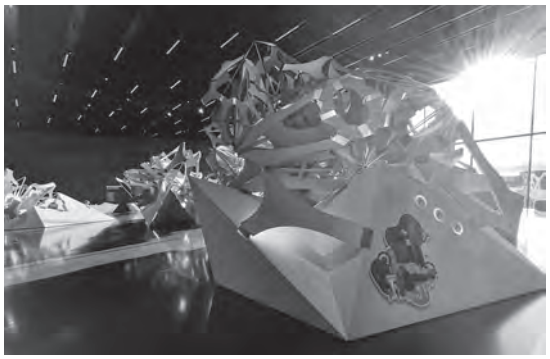

写真2　木彫りで表現されたNeo-Nature